



有限会社 みなと設備

SDGs宣言

当社は、SDGsの達成に向けて、後述の取組を含む社内外に好循環を生み出す取組を推進し、PDCA（計画-実行-評価-改善）サイクルに沿った継続的な取組およびその改善を、ここに宣言します。

2024年 5月 27日
有限会社 みなと設備 代表取締役 諏訪 秀典

人権・労働

<具体的な取組内容>

- K Y活動（危険予知活動）を定期的を実施し、問題の把握と対策等を全職員が共有することで、労災事故やトラブルを未然に防止し、職場の安全意識の向上と労働環境の改善に努めていく
- 差別やハラスメント防止について、全職員に対して文書の配布・読み合わせを行い、注意喚起を徹底するとともに、社会保険労務士等の専門家による相談窓口を設置することによって、人権・労働環境に配慮した組織を構築していく

<関連のあるゴール>



製品・サービス

<具体的な取組内容>

- 「きれいな施工」＝「耐久性のある施工」＝「環境に配慮した施工」という施工上のポリシーを大切に、アフターフォローを丁寧に行うことで、製品、施工の耐久性を高め、品質向上に努めていく
- 高い技術力とコスト意識を保持し、自社独自の提案による付加価値創出と工期の短縮によるコスト面の還元によって、お客様満足度の向上を追求していく

<関連のあるゴール>



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



環境

<具体的な取組内容>

- 業務・作業で生じる端材や廃材の分別リサイクルの徹底のみならず、回収品を分解のうえ可能な限り部品として再利用・再資源化していくことで、地域のサーキュラー・エコノミーに貢献していく
- 省エネ型給湯器や節水型シャワーなどのエコ商品の提案により、CO2削減及び使用水の経費節約と地域の水資源の保持にも貢献していく

<関連のあるゴール>



社会貢献・地域貢献

<具体的な取組内容>

- 小・中学校などの依頼に協力し、職場体験学習の機会を提供することで、地域の子どもたちの人材育成に貢献していく
- 災害時に、事務所を避難場所として活用することができるように、毛布・ヘルメット・飲料水などを普段から備蓄し、地域の安全・安心に貢献していく
- 海岸清掃などによる美化活動を積極的に行い、住み続けられる街づくりの活動に寄与していく

<関連のあるゴール>



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。